

医師が多数を占めるMLでの2010年2月26日のやりとり・

昔々、子宮頸がんがパートナーからウイルスでうつることを社説で紹介したことがあり、家庭争議がおこらないように苦勞して書いたおぼえがあります。

最近、

「HPV ワクチンの早期承認と公費負担の実現を図る子宮頸ガン征圧をめざす専門家会議」
<http://cczeropro.jp/> がスタートし、
モナコの学会にジャーナリストたちが招待されました。

>

>僕個人は、ワクチンしておけば確実に死ななかったのに、してなかったために死
>んだ子は、何十人と看取っています。一方、ワクチンで障害を受けたと思われる
>子も数人、障害者の専門病院で対応したことがあります。数でいうと死んだ子の
>ほうが、障害を受けた子より多いかな???ただ、これは僕自身の個人的経験な
>ので、もっと大きな母集団の数字で見ると必要があると思います。

>

子宮がんワクチンの場合は、
ご経験になっているような感染症と違って
早期発見・早期治療で死を免れることができます。

「ワクチンしておけば確実に死ななかったのに、してなかったために死んだ」
という種類の感染症とは、事情が違うとおもいます。
みなさまは、どのようにご判断、ご評価なさるでしょうか？

では、また (^-^)/~~~~~

()
w ()
() w w
w w w
////////////////////////////////////

大熊由紀子 yuki@spa.nifty.com
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
<http://www.yuki-enishi.com/>
FAX.020-4624-2919

([fmj2][00649] バランスの感覚→子宮ガンワクチンのことで より)